

令和4年度 第3回鈴鹿市立加佐登小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年10月13日(木) 13:30~14:50

2 場 所 加佐登小学校 少人数教室

3 授業参観 13:30~14:00

4 あいさつ

(委員長より) 授業参観で頑張っている子どもの姿をみることができた。

(学校長より) 運動会は、種目数を減らし体育の授業だけで練習をしてきたが、子ども達は満足する演技や競技ができていた。今後5年生は野外宿泊学習、6年生は修学旅行を実施予定である。米作りでは、まちづくり協議会の方にお世話になり稲刈りを体験し、できたお米を持ち帰らせてもらった。

5 協議内容

(1) 授業参観後の意見交流について

○ロッカー、机回り、赤白帽、雑巾などそれぞれの物がきちんと収まっており、先生が丁寧に指導をしていると感じた。とてもきれいに整頓されており見習うべき教室があった。

○廊下の掲示に虫食い算などが貼ってあり、子どもが子どもに教えているのが良いと思った。

○廊下の習字が丸まっていた。見てもらうためにせっかく掲示してあるので工夫をするとよい。また古いものは形式化してしまうと見なくなるので定期的に張り替えるとよい。

○廊下や階段の掃除が行き届いているが、階段おどり場の窓に蜘蛛の巣があった。子どもは手が届かないので先生で掃除をするとよい。

○ICT が小学校でどのように活用されているか分かった。ICT を活用することで授業がテンポよく行われている。同時に先生が自分の言葉で子どもをひきつけて対話をしながら進めており、先生の授業の力で子ども達が伸びている。

○ICT の使い方が早くてスムーズだった。授業の内容や質が変わっており、これからの子はこうやって知識を身に着けていくと感じた。

○ICT を活用し、SDGsについて学んでいた。親が知らないことを学び始めている。

○1年生が落ち着いていた。

○子ども全体が落ち着いている。先生の発問に集中し積極的に授業に参加していた。

○静かで驚いた。立ち歩く子もおらず先生が当たり前前に授業をしていて、学校の雰囲気良くなった。子ども自身もコロナを経験し、学校生活を大切にす気持ちが生まれたのではないか。

○習字で服が汚れないように新聞で作ったエプロンをしていた。汚れを気にしなく

てもよいしSDGsにもつながりよいアイデアである。

○メダカの産卵記録が掲示してあり、生き物を大切にしていると感じた。

○社会の内容は修学旅行に合った内容でマッチしている。

○切り絵など掲示物が素晴らしいので、学校だよりで紹介するとよい。

○昔は手を挙げる子が決まっていたり、おとなしい子とガキ大将というように分かれていたりしたが、皆が平等で和気合い合いといい雰囲気であつて授業が行われていた。

○掲示物にクラスの集合写真や、運動会の写真などそれぞれ工夫があつて明るい雰囲気である。

○マスクをしているからか先生の声が小さいと感じた。

○日本語指導の教室があり環境もよい。

○背の順に並ぶため特支の児童が自分の場所を探す時、クラスのみんなで声をかけて探しており、分からない子に教えるのが当たり前という雰囲気であつて、特支学級の児童と周りの子との間に垣根がなかつた。

○特支学級の児童の様子を、授業の最初と最後で見に行つたが、集中して座つて取り組んでおり、丁寧な指導だつて感じた。

○2階の子どもいない教室で扇風機が回っていた。

○和式のトイレが多いが改修の予定はあるか。→市全体で順に改修を行っている最中である。

(2) 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について(別紙)

学校長より説明

○子どもの体力についてはどうか。→次回の学校保健会で報告予定である。

6 その他 次回 11月17日(木) 13:30~第4回学校運営協議会
14:30~学校保健委員会

7 教育支援課 アドバイザーより

学校運営協議委員の方に授業をみて頂くのは、学校や子どもの様子を知っていただく良い機会となる。年度末の学校関係者評価をする際に、前回から今回での変容等をもとに評価をしていただきたい。また、年度初めに承認していただいた学校長の学校経営方針や、本日報告のあつた学調の結果をもとにした取り組みが今後なされたか等をもとに評価していただくとありがたい。小さいことでも学校にとってはありがたい意見となる。

また、加佐登小学校は研修で算数に取り組んでおり、掲示板にクイズや問題が貼つてあり各学年の取り組みが分かる。市で取り入れている一人一台端末を活用し、子どもの考えを映し出すなど進んで取り組んでいることが一目で分かつた。市では発達段階に応じた活用を進めている。以上のような視点で年度末に評価をお願いしたい。